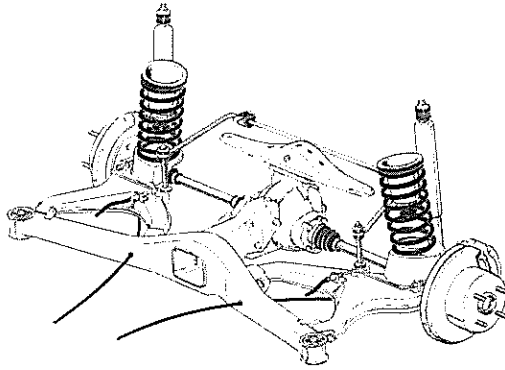


リヤ サスペンション

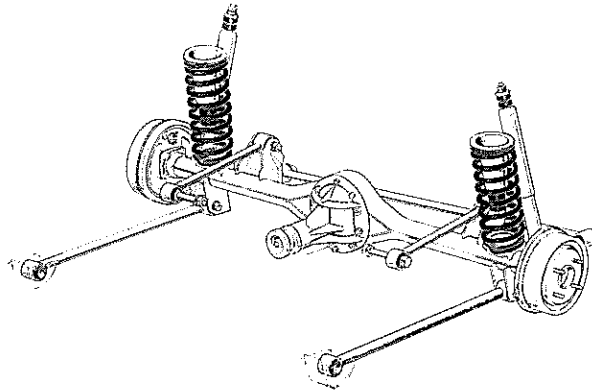
構成図	10-2
仕様	10-3
〔C-RX31, MX31・33系 セミ トレーリング アーム式 IRS〕	
構成部品および締め付けトルク	10-4
シヨツク アブソーバ & コイル スプリング	10-5
スタビライザ バー	10-6
サスペンション アーム	10-6
サスペンション ASSY	10-7
デフアレンシヤル サポート メンバ	10-8
リヤ ホイール アライメント	10-9
〔C-RX30, MX30系 4 リンク式〕	
構成部品および締め付けトルク	10-11
シヨツク アブソーバ & コイル スプリング	10-12
アツパ コントロール アーム, ロワー コントロール アーム	10-13
ラテラル コントロール ロツド	10-13
〔H-RX37V, C-MX35系 リーフ式〕	
構成部品および締め付けトルク	10-14
リーフ スプリング	10-15

構成図

[C-RX31, MX31・33系]



[C-RX30, MX30系]



[H-RX37V, C-MX35系]

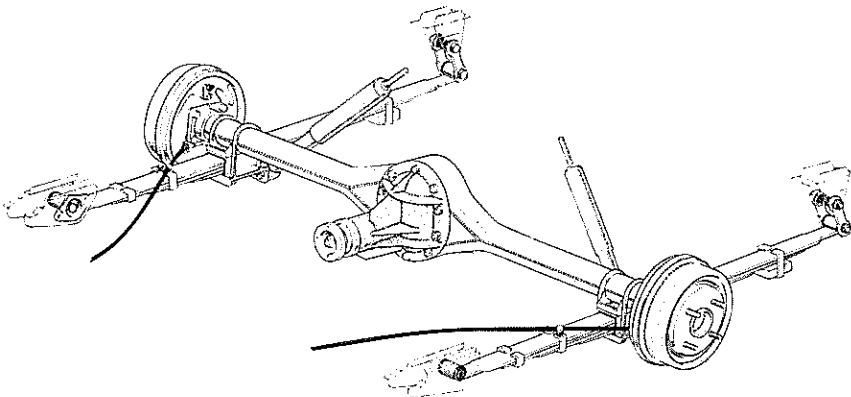


図10-1 構成図

M2081~M2083

仕 様

表10-1 コイル スプリング仕様

車 両 型 式	C-R X 30, MX 30系	C-R X 31系	C-MX 31, MX 33系
線 径 (mm)	12.0	14.0	←
コ イ ル 平 均 径 (mm)	120	130	←
総 巻 数	8.42	8.11	←
自 由 長 (mm)	413	368	←
取 り 付 け 長 (mm)	249	222	←
取 り 付 け 荷 重 (kg)	296	396	←
バ ネ 定 数 (kg/mm)	1.8	2.75	←
荷 重 分 類 (kg)	白	—	384~392
	青	—	392~400
	緑	—	—
	赤 一 個	284~296	—
	赤 二 個	296~308	—
コイル スプリング組み合わせ	左 側	赤 一 個	白
	右 側	赤 二 個	青

10

表10-2 アブソーバ仕様

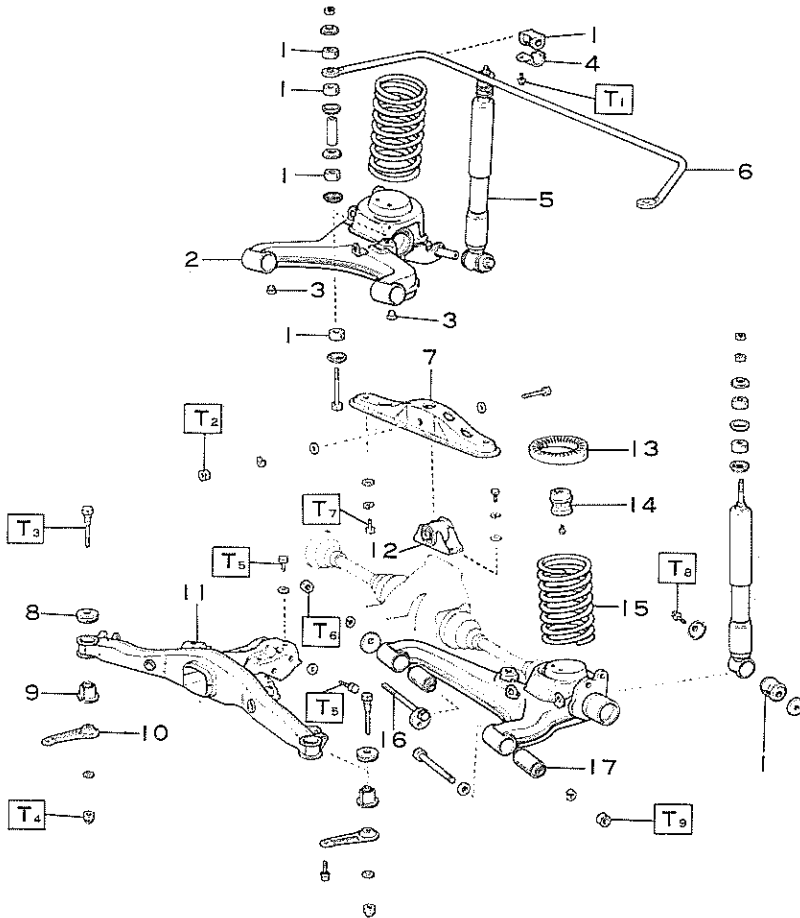
車 両 型 式	H-R X 37V		C-R X 30, MX 30系	C-R X 31, MX 31・33系	C-MX 35系
	-R系	-D系			
ス ト ロ ー ク (mm)	210	←	247	230	205
最 大 長 (mm)	515	←	602	617	505
最 小 長 (mm)	305	←	355	390	300
減 衰 力 (kg [0.3m/sec])	伸 時	76	96	66	50
	縮 時	39	43	26	25

表10-3 リーフ スプリング仕様

車 両 型 式	H-R X 37V (-R系・-D系)		H-R X 37V (-N系)	C-MX 35系	
	幅	厚 さ		幅	厚 さ
幅 (mm)	70		←	←	
厚 さ (mm)	7		6	7	6
枚 数	3		4	2	
ヘルパ スプリング (mm)	幅	70		←	
	厚 さ	11		13	
キ ャ ン パ (mm)	無負荷時	124		133	
	負荷時	-13~-1 (435kg)		←	
				-3~9 (306kg)	

〔C-RX31, MX31・33系 セミ トレーリング アーム式 IRS〕

構成部品および締め付けトルク



〔締め付けトルク単位：kg-cm〕

T_1	= 300 ~ 450
T_2	= 600 ~ 800
T_3	= 2000 ~ 3000
T_4	= 1000 ~ 1400
T_5	= 700 ~ 900
T_6	= 1150 ~ 1500
T_7	= 500 ~ 700
T_8	= 300 ~ 450
T_9	= 1000 ~ 1350

- 1 シユ
- 2 アーム サブ ASSY, リヤ サスペンション
- 3 グロメット
- 4 ブラケット, スタビライザ パー
- 5 アブソーバ ASSY, ショック, リヤ
- 6 パー, スタビライザ
- 7 メンバ, ディフレクショナル サポート
- 8 ストツバ, リヤ サスペンション メンバ, アツバ
- 9 クワシオン, リヤ サスペンション メンバ
- 10 ストツバ, リヤ サスペンション メンバ, ローア
- 11 メンバ サブ ASSY, リヤ サスペンション
- 12 クワシオン & ブラケット サブ ASSY, ディフレクショナル サポート
- 13 インシュレータ, リヤ コイル スプリング
- 14 バンパ, リヤ スプリング
- 15 スプリング, コイル, リヤ
- 16 カム ASSY, キャンバ アジャスト
- 17 シユ サブ ASSY, リヤ サスペンション アーム

図10-2 構成部品および締め付けトルク

M2186

SST, 工具, 計器

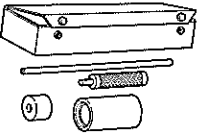
S S T		09710-22030	ツール セット, リヤ サスペンション プシユ
-------------	---	-------------	-------------------------

図10-3

ショック アブソーバ & コイル スプリング

取りはずし

- (1) サスペンション メンバをスタンドでささえ、サスペンション アームをジャッキでささえておく。
- (2) 次の部品を取りはずす。
 - ① ホイール
 - ② ブレーキ ホース クランプ
 - ③ スタビライザ バー エンド
 - ④ ショック アブソーバ
 - ⑤ ドライブ シャフト
 - ⑥ サスペンション アーム を下げながら コイル スプリング をはずす。

〈注意〉

フレキシブル ホースおよびパーキング ケーブルを引っ張らないように注意する。

点 検

- (1) 機能, 異音, 油漏れ, プシユの摩耗を点検し, 不良のものは交換する。

取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。
 - ① コイル スプリング
T=190~310kg-cm (ボデー側)
T=300~450kg-cm (アーム側)
 - ② ショック アブソーバ
T=600~800kg-cm
 - ③ ドライブ シャフト
 - ④ スタビライザ バー
 - ⑤ ブレーキ ホース クランプ
 - ⑥ ホイール
- (2) スタンドを取りはずす。

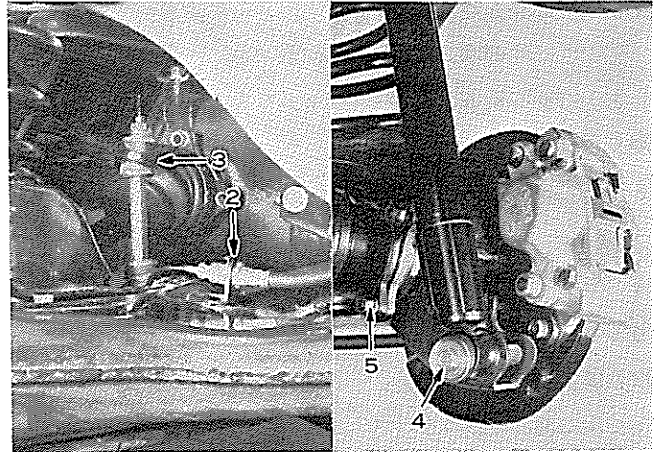


図10-4 ショック アブソーバ取りはずし

H0167 H0168

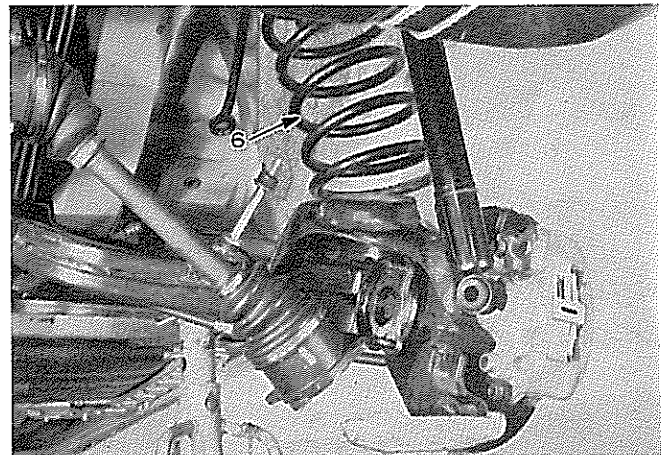


図10-5 コイル スプリング取りはずし

H0169

10

スタビライザ バー

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① ブラケット (エンド部, ボデー側)
- ② スタビライザ バー

点 検

(1) 次の部品を点検する。

- ① ブシュの摩耗, き裂, 衰損
- ② バーの損傷, 曲がり

取り付け

(1) ボデー側ブラケット取り付けボルト

$T=300\sim 450\text{kg}\cdot\text{cm}$

サスペンション アーム

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① フレキシブル ホース
(ボデー側)
- ② パーキング ケーブル No.2 No.3
取り付け部
(ブレーキの項参照)
- ③ コイル スプリング
(P 10-5参照)
- ④ サスペンション アーム

—————
〈注意〉
—————

カム プレートのマーク位置を覚えておく。

- ⑤ ブシュ
SST〔09710-22030〕

点 検

(1) 次の部品を点検する。

- ① ブシュの摩耗, き裂, 衰損
- ② アームの損傷, き裂, 曲がり

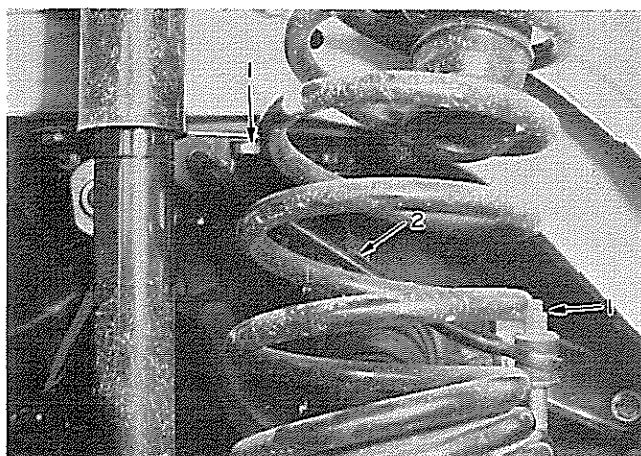


図10-6 スタビライザ バー取りはずし

H0170

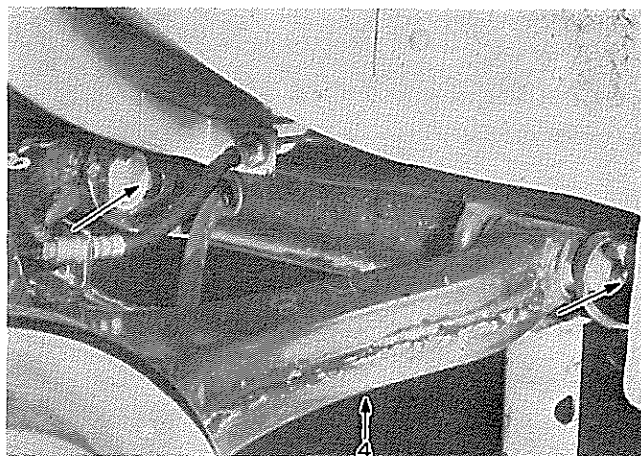


図10-7 サスペンション アーム取りはずし

H0171

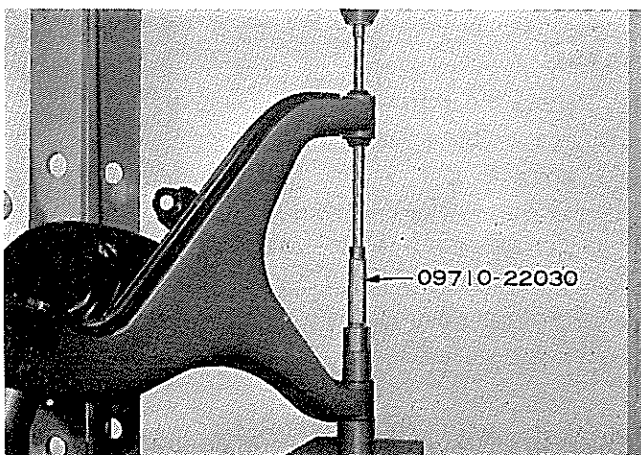


図10-8 ブシュ取りはずし

H0172

取り付け

(1) 次の部品を取り付ける。

- ① ブシユ
SST〔09710-22030〕
- ② サスペンション アーム ASSY
仮り締め

〈注意〉

カム プレートのマークはもとの位置にする。

- ③ コイル スプリング
(P 10-5参照)
- ④ フレキシブル ホース & パーキング ケーブル
(ブレーキの項参照)

(2) ブレーキのエア抜きをする。

(3) サイド ブレーキ点検

(4) 車両を降し上下に数回ゆすり、車高を基準高さにして、サスペンション アームを締め付ける。

T=1000~1350kg-cm (外側)

T=1150~1500kg-cm (内側)

(5) リヤ トーインを点検、調整する。
(P 10-9参照)

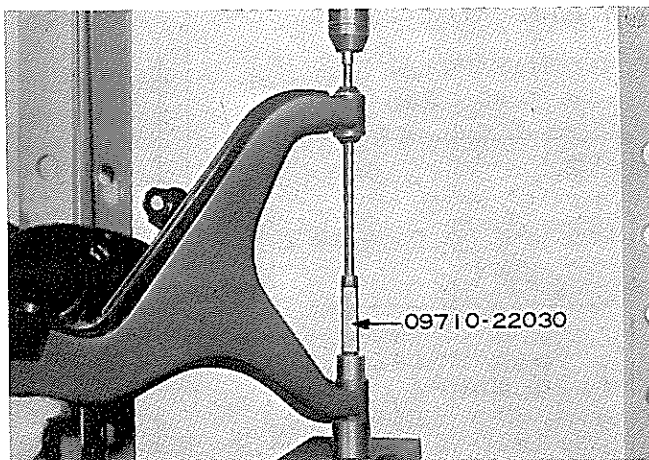


図10-9 ブシユ取り付け

H0173

10

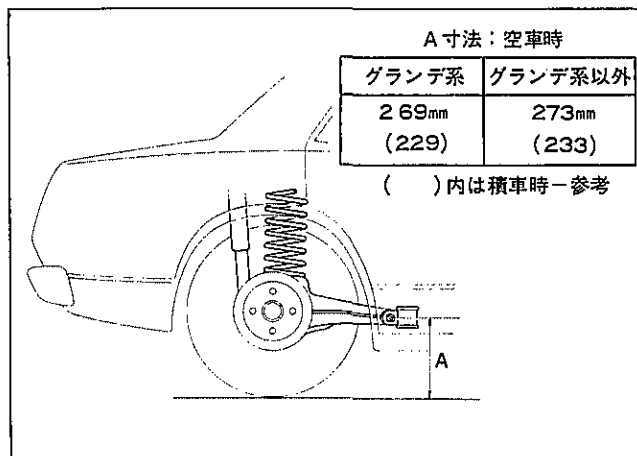


図10-10 車高規制時高さ

M1474

サスペンション ASSY

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① プロペラ シャフト
- ② パーキング ブレーキ ケーブル
- ③ エキゾースト テール パイプ
- ④ ブレーキ フレキシブル ホース
(ブレーキの項参照)
- ⑤ コイル スプリング(P 10-5参照)
- ⑥ リヤ サスペンション ASSYを
をジャッキでささえる。
- ⑦ デフ サポート メンバ取り付け
ボルト
- ⑧ バック シート クッション
- ⑨ サスペンション メンバ 取り付け
ボルト & ナット
- ⑩ サスペンション ASSY

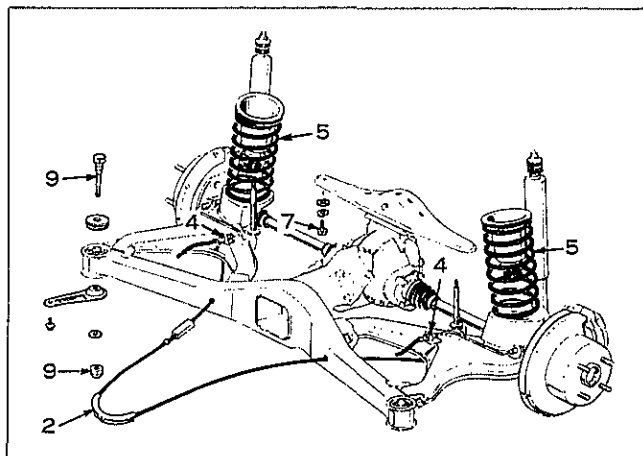


図10-11 サスペンション ASSY取りはずし

M2187

点 検

- (1) 次の部品を点検する。
- ① クッションのき裂, 衰損
 - ② メンバの損傷, き裂, 曲がり

交 換

- (1) クッションの交換
 プラスティック ハンマなどを用いて, 脱着する。

~~~~~<注意>~~~~~

- 1 クッションはメンバ下側から打ち込み  
 スグリの方向は車両の進行方向と一致するように組み付ける。
- 2 組み付け時, ラバー部を打たないように注意する。

組み付け

- (1) サスペンション ASSY をジャッキアップし次の部品を組み付ける。

- ① サスペンション メンバ取り付けボルト & ナット  
 $T=2000\sim3000\text{kg}\cdot\text{cm}$   
 (上側ボルト)  
 $T=1000\sim1400\text{kg}\cdot\text{cm}$   
 (下側ナット)
- ② バック シート
- ③ デフアレンシヤル サポート メンバ取り付けボルト  
 $T=500\sim700\text{kg}\cdot\text{cm}$
- ④ コイル スプリング (P10-5参照)
- ⑤ ブレーキ フレキシブル ホース
- ⑥ エキゾースト テール パイプ
- ⑦ パーキング ブレーキ ケーブル  
 (ブレーキの項参照)
- ⑧ プロペラ シャフト

デフアレンシヤル

サポート メンバ

取りはずし

- (1) メンバを取りはずす。

点 検

- (1) クッションのき裂, 衰損, メンバの損傷, き裂, 曲がりを点検する。

交 換

- (1) クッションの交換  
 プラスティック ハンマなどを用いて脱着する。

~~~~~<注意>~~~~~

その入方向とスグリ部分に方向性があるので注意する。

- (4) メンバを取り付ける。

$T=500\sim700\text{kg}\cdot\text{cm}$

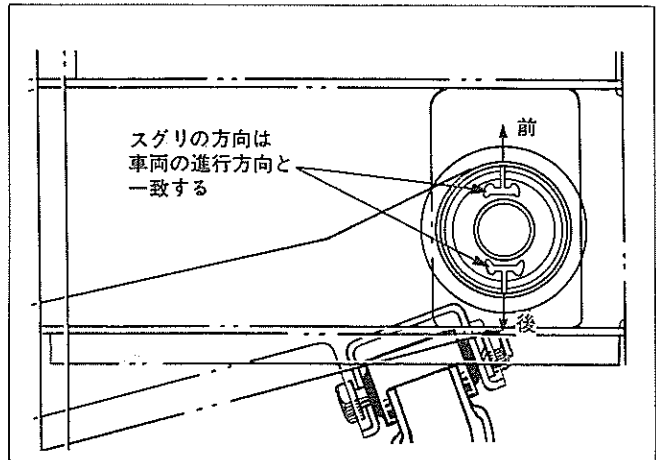


図10-12 クッションの交換

M1475

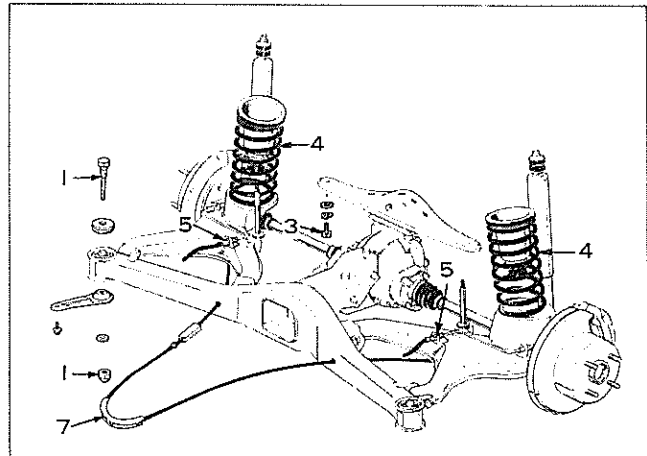


図10-13 サスペンション ASSY取り付け

H0174

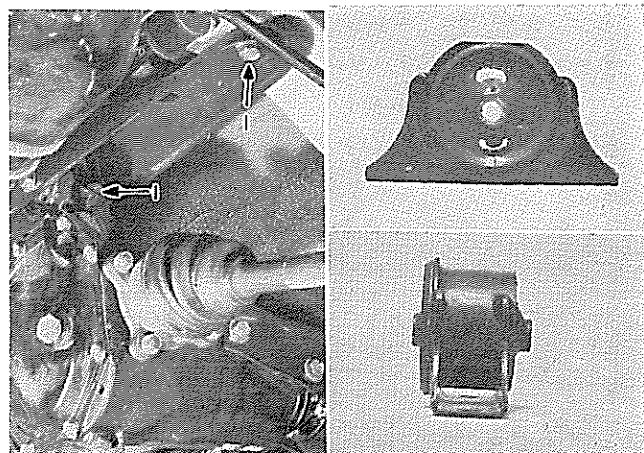


図10-14 サポート メンバ取りはずし

H0175 H0176

リヤホール アライメント

前作業

(1) 次の項目を点検する。

- ① タイヤの摩耗, 空気圧 (P 11-25参照)
- ② ホイール振れ
- ③ 関係各部ボルトのゆるみ
- ④ リヤ アクスル シャフトのガタ

注意

シャフトにガタのある場合は, 次の手順で調整する。

- 1 ホイール, ブレーキ ディスク, ドライブ シャフトを取りはずし, アクスル シャフトの締め付けナットを新品と交換する。
- 2 アクスル シャフトのガタを確かめながら, 5~10°づつナットを締め込み, ガタをなくす。
ただし, 締め付けトルクが $T=2000\text{kg}\cdot\text{cm}$ を超えても, ガタがある場合は, スペーサを新品と交換し, アクスル シャフトを再組み付けする。(P9-17参照)
- 3 アクスル シャフトの回転ブレロードを測定し, $9\text{kg}\cdot\text{cm}$ 以下であることを確認する。
ただし, 回転ブレロードが $9\text{kg}\cdot\text{cm}$ を超えている場合は, スペーサを新品と交換し, アクスル シャフトを再組み付けする。(P9-17参照)

- ⑤ リヤ アクスル アーム取り付け部のガタ
- ⑥ リヤ サスペンション メンバの取り付け部のガタ
- ⑦ 車高 (P 11-25参照)

トーイン点検

トーイン基準値 (空車時)

-3.6~+0.4mm

ただし, トーインはサイド スリツプの測定値により, 良否の判定をする。

サイド スリツプ基準値 (空車時)

1mにつき, アウト, インともに 3mm以内

トーイン調整

- (1) サイド スリツプ測定値が基準値からはずれる場合は, ディスクホイールとデフアレンシヤル リヤ カバー 取り付けボルト中心間距離を, 左右測定し, その差が5mm以上ならば, 5mm以内になるまで, どちらか一方のサスペンション アームのカムで調整する。
(ターニング ラジヤス ゲージ上にて調整する)

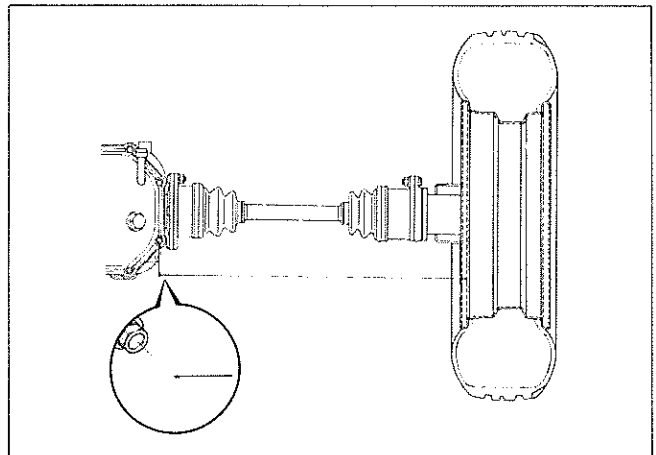


図10-15 左右寸法測定

M2084

〈注意〉

- 1 サイド スリッパ測定値がアウト側にはずれるときは、寸法の短い方のアームのカムで長くする。
- 2 イン側にはずれるときは、寸法の長い方のアームのカムで短かくする。
- 3 カム位置は、中心位置から5目盛以上回さない。

- (2) 左右のカムを同量づつ回し、サイド スリッパが基準値内に入るよう調整する。

〈参考〉

カム1目盛(片側)回すと、サイド スリッパは、約1.5~2.5mm(1mにつき)変化する。

- (3) 調整できない場合は、キヤンバを測定する。

キヤンバ基準値(空車時)

0~1°

計器 キヤンバ キヤスタ キング
ピン ゲージなど

測定値が基準値からはずれる場合は、サスペンション アームなどを点検、交換する。

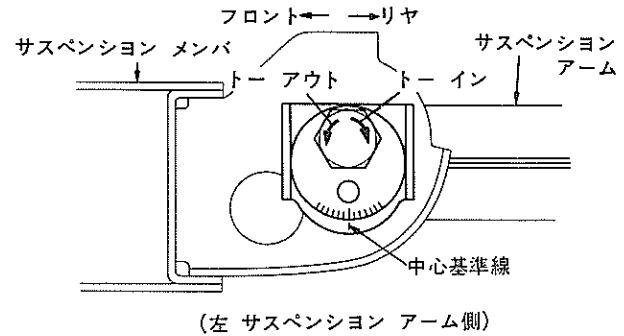


図10-16 カム調整

M2085

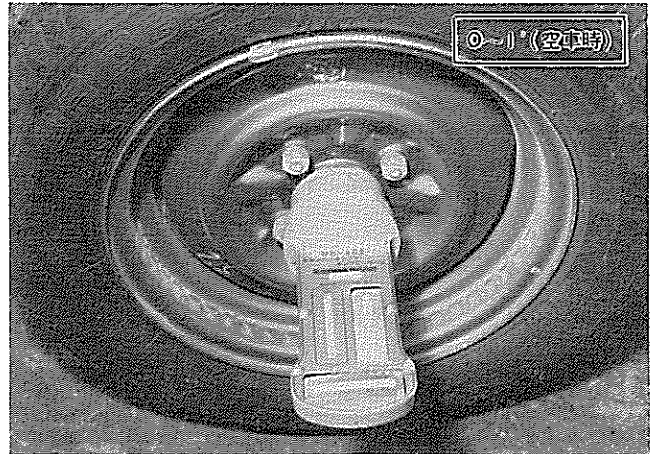
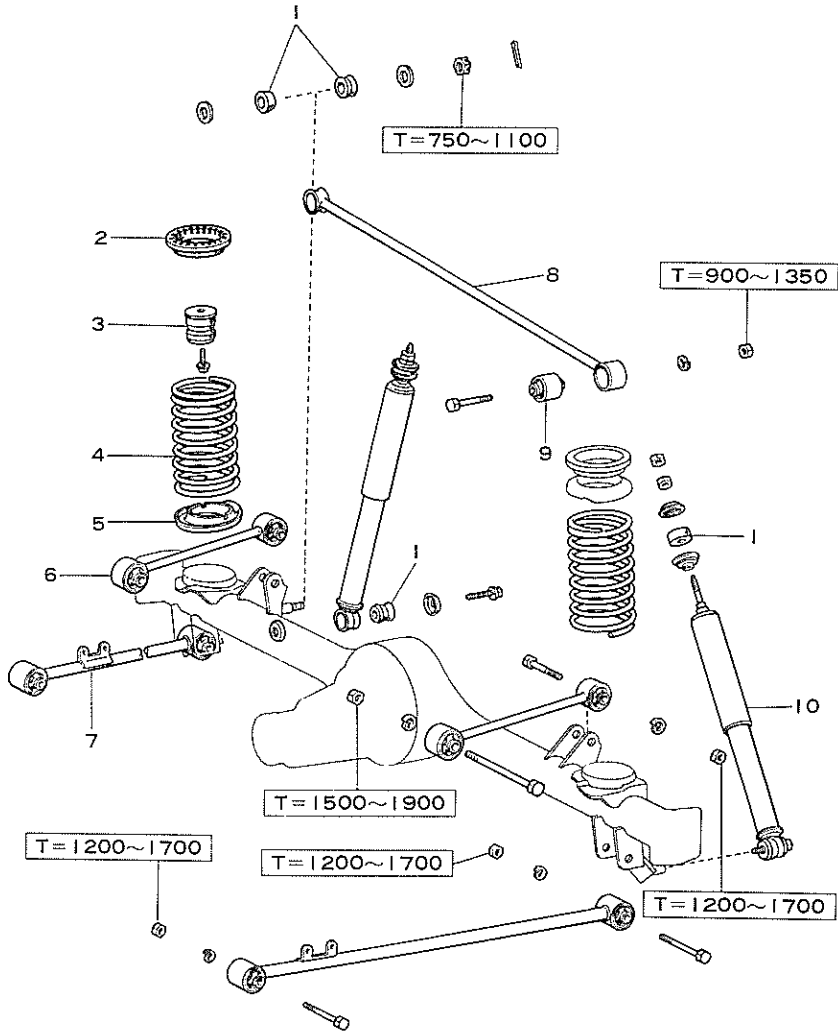


図10-17 キヤンバ測定

H0547

〔C-RX, MX30系 4 リンク式〕

構成部品および締め付けトルク



〔締め付けトルク単位：kg-cm〕

- | | | | |
|---|----------------------|----|---------------------------|
| 1 | ブッシュ | 6 | アーム ASSY, アップ コントロール |
| 2 | インシユレータ, リヤ コイル アツバ | 7 | アーム ASSY, ロー コントロール |
| 3 | パンパ サブ ASSY リヤ スプリング | 8 | アーム サブ ASSY, ラテラル コントロール |
| 4 | スプリング, コイル, リヤ | 9 | ブッシュ サブ ASSY, ラテラル コントロール |
| 5 | インシユレータ, リヤ コイル ロー | 10 | アブソープ, ショツク, リヤ |

図10-18 構成部品および締め付けトルク

M2086

SST, 工具, 計器


| | | | |
|-------------|---|-------------|---------------------|
| S
S
T |  | 09716-30010 | ツール, アツパ コントロール アーム |
|-------------|---|-------------|---------------------|

図10-19

ショック アブソーバ & コイル スプリング

取りはずし

- (1) フレームをスタンドでささえ、リヤアクスルハウジングをジャッキでささえしておく。
- (2) 次の部品を取りはずす。
 - ① ホイール
 - ② ショック アブソーバ
 - ③ ラテラル コントロール ロッド (ハウジング側)
 - ④ リヤ アクスル ハウジングを下げながら コイル スプリングをはずす。

〈注意〉

フレキシブル ホースおよびパーキングブレーキ ケーブルを引つ張らないように注意する。

点 検

- (1) 機能, 異音, 油漏れ, ブシユの摩擦を点検し, 不良のものは交換する。

取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。
 - ① コイル スプリング
 - ② ラテラル コントロール ロッド (ハウジング側)
T=750~1100kg-cm
 - ③ ショック アブソーバ
ボデー側 T=190~310kg-cm
ハウジング側 T=300~450kg-cm
 - ④ ホイール
- (2) スタンドを取りはずす。

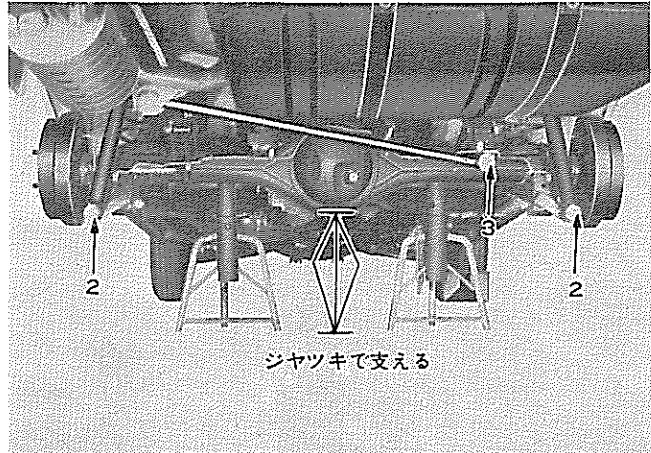


図10-20 ショック アブソーバ取りはずし

H0177

アツパ コントロール アーム, ロワー コントロール アーム

取りはずし

- (1) ジャッキ アップし, フレームをスタンドでささえる。
- (2) 次の部品を取りはずす。

- ① アツパ コントロール アーム, ロワー コントロール アーム

点 検

- (1) コントロール アームの曲がり, き裂, ブシュの衰損などを点検する。

取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。

アツパ コントロール アーム ボデー側 $T=1500\sim 1900\text{kg}\cdot\text{cm}$, ハウジング側 $T=1200\sim 1700\text{kg}\cdot\text{cm}$
 ロワー コントロール アーム 両端ともに $T=1200\sim 1700\text{kg}\cdot\text{cm}$

-----<注意>-----

コントロール アーム取り付けボルトは, 空車状態で締め付ける。

ラテラル コントロール

ロッド

取りはずし

- (1) ジャッキ アップし, フレームを
スタンドでささえる。
- (2) 次の部品を取りはずす。

- ① ラテラル コントロール ロッド
- ② ブシュ

SST〔09716-30010〕

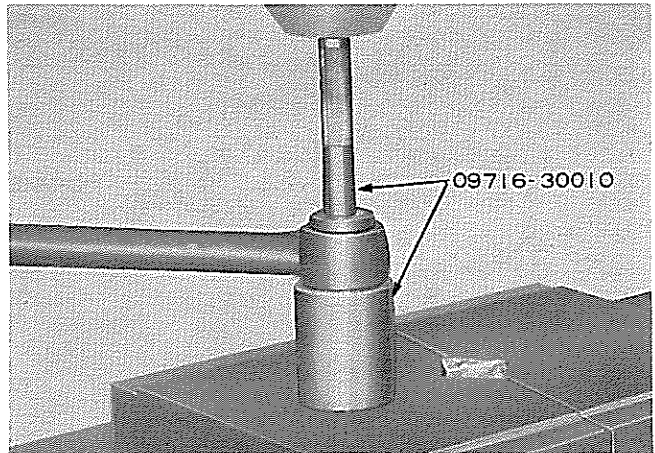


図10-21 ブシュ取りはずし

V4822

取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。

- ① ブシュ
SST〔09716-30010〕
- ② ラテラル コントロール ロッド
ボデー側 $T=900\sim 1350\text{kg}\cdot\text{cm}$
ハウジング側
 $T=750\sim 1100\text{kg}\cdot\text{cm}$

-----<注意>-----

ラテラル コントロール 取り付けボルト
は, 空車状態で締め付ける。

- (2) スタンドを取りはずす。

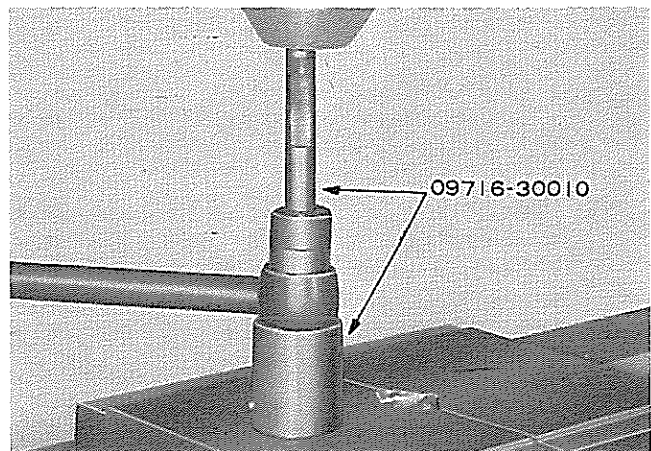
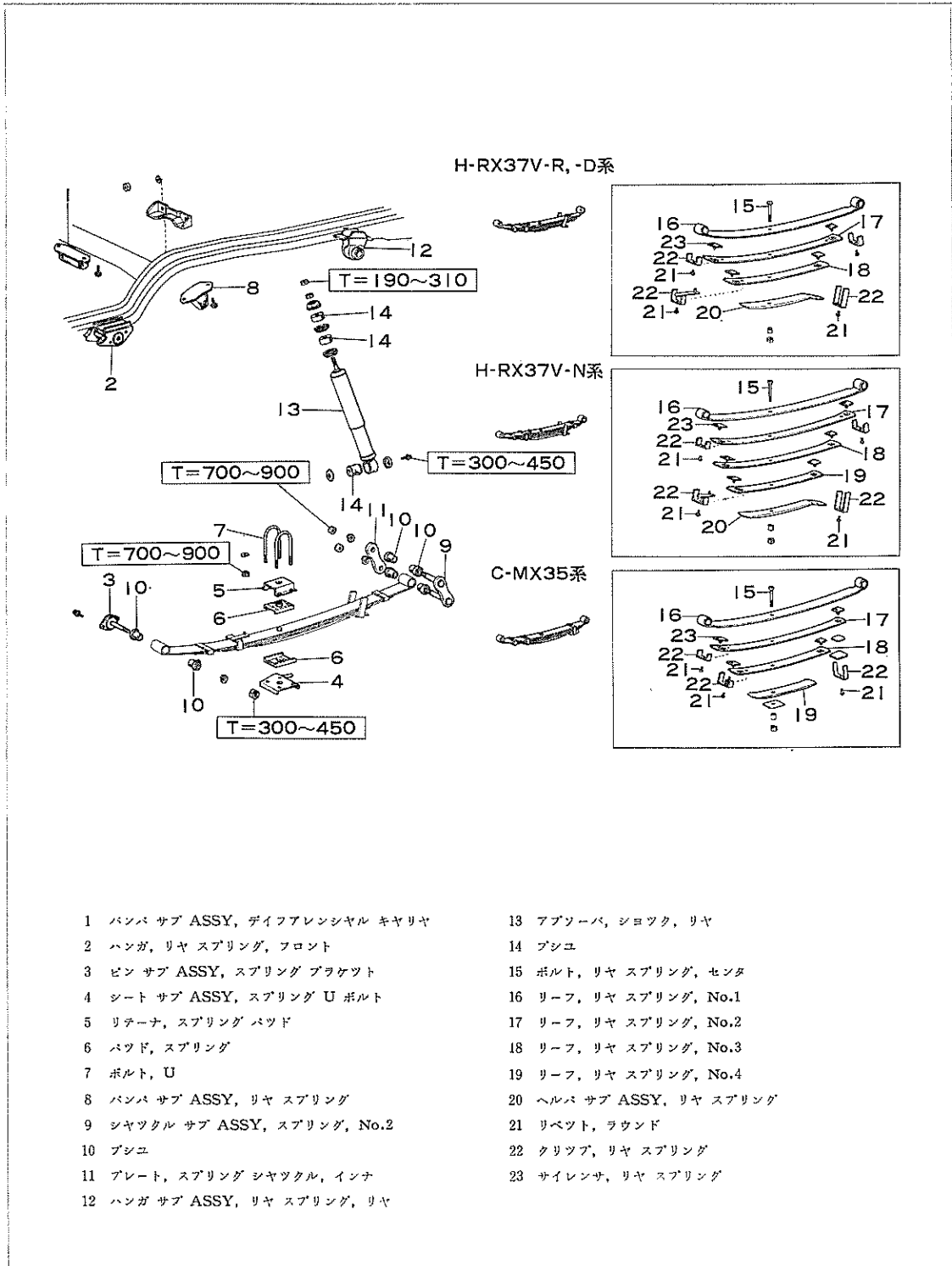


図10-22 ブシュ取り付け

V4822

〔H-RX37V, C-MX35系 リーフ式〕

構成部品および締め付けトルク



- | | |
|---|--|
| <p>1 バンパ サブ ASSY, デイフアレンシヤル キヤリヤ</p> <p>2 ハンガ, リヤ スプリング, フロント</p> <p>3 ピン サブ ASSY, スプリング ブラケット</p> <p>4 シート サブ ASSY, スプリング U ボルト</p> <p>5 リテーナ, スプリング パッド</p> <p>6 パッド, スプリング</p> <p>7 ボルト, U</p> <p>8 バンパ サブ ASSY, リヤ スプリング</p> <p>9 シヤツクル サブ ASSY, スプリング, No.2</p> <p>10 ブシユ</p> <p>11 プレート, スプリング シヤツクル, インナ</p> <p>12 ハンガ サブ ASSY, リヤ スプリング, リヤ</p> | <p>13 アブツーバ, ショツク, リヤ</p> <p>14 ブシユ</p> <p>15 ボルト, リヤ スプリング, センタ</p> <p>16 リーフ, リヤ スプリング, No.1</p> <p>17 リーフ, リヤ スプリング, No.2</p> <p>18 リーフ, リヤ スプリング, No.3</p> <p>19 リーフ, リヤ スプリング, No.4</p> <p>20 ヘルバ サブ ASSY, リヤ スプリング</p> <p>21 リベット, ラウンド</p> <p>22 クリツプ, リヤ スプリング</p> <p>23 サイレンサ, リヤ スプリング</p> |
|---|--|

図10-23 構成部品および締め付けトルク

M2194

リーフ スプリング

取りはずし

(1) フレームをスタンドでささえ、ジャッキでリヤ アクスルハウジングをささえしておく。

(2) 次の部品を取りはずす。

- ① ホイール
- ② ショック アブソーバ下部
- ③ パーキング ブレーキ ケーブルのクランプ サポート プレート
- ④ U ボルト, シート & パッド (下側)

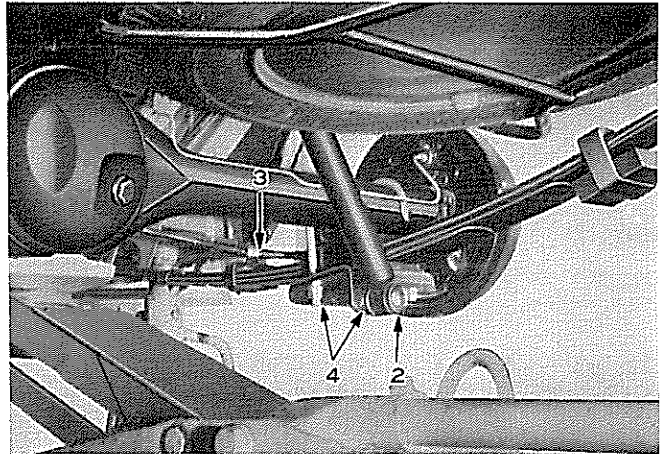


図10-24 リーフ スプリング取りはずし (その1)

H0182

(3) アクスルハウジングがスプリングから浮くまでジャッキアップし、次の部品を取りはずす。

- ⑤ パッド リテーナ & パッド (上側)

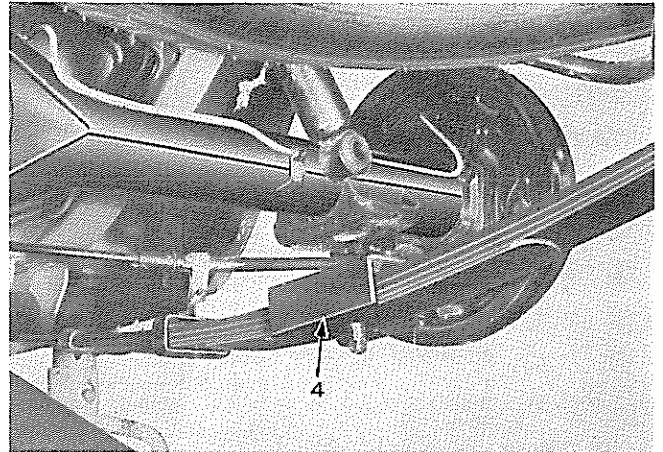


図10-25 リーフ スプリング取りはずし (その2)

H0178

- ⑥ スプリング ブラケット ピン & ブシユ
- ⑦ スプリング シャツクル & ブシユ
- ⑧ スプリング シャツクル インナプレート

〈注意〉

シャツクルの取り付けボルトの取り付け方向が、左右非対称であるので注意する。

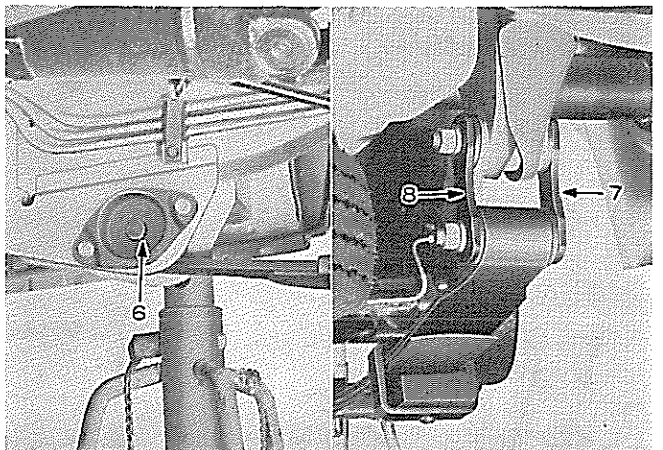


図10-26 シャツクル ピン & ブシユ取りはずし

H0179 H0180

分 解

- (1) クリツプを起こす。
- (2) スプリングをバイスにはさみ、センタ ボルトを取りはずす。
- (3) スプリング サイレンサをはがす。

組み付け

- (1) スプリング サイレンサを接着する。
- (2) センタ ボルトをスプリングに通し、バイスなどでスプリングを圧縮して、センタ ボルトを締め付ける。
- (3) スプリング クリツプを曲げる。

取り付け

- (1) スプリング前端に内側ブシユを組み付け、ハンガにそう入する。
- (2) 次の部品を組み付ける。
 - ① 前端外側のブシユ
 - ② ハンガ ピン (仮り締め)
 - ③ 後端ブシユ & ハンガ ブシユ
 - ④ シヤツクル & ピン (仮り締め)
 - ⑤ パツド & パツド リテーナ
- (3) リヤ アクスルのスプリング シート穴をセンタ ボルトに合わせてリヤ アクスルを降す。
- (4) 次の部品を組み付ける。
 - ⑥ U ボルト & シート
T=700~900kg-cm
 - ⑦ ショック アブソーバ
T=300~450kg-cm
 - ⑧ パーキング ブレーキ ケーブルのクランプ サポート プレート
 - ⑨ ホイール
- (5) スタンドをはずし、ブラケットピン & シヤツクル ピンを締め付ける。

ブラケットピン T=300~450kg-cm
シヤツクル ピン T=500~700kg-cm

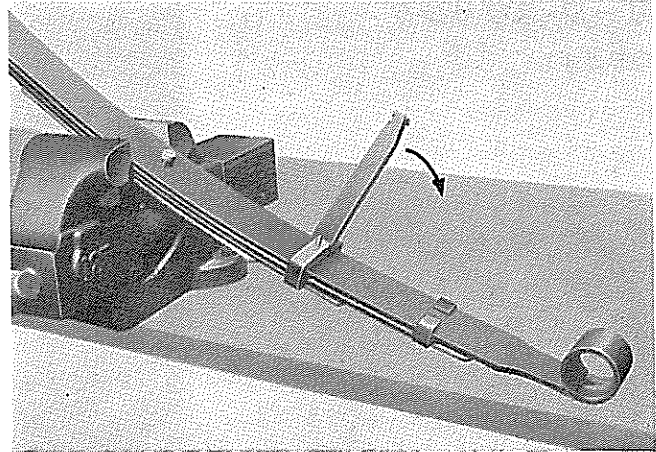


図10-27 リーフ スプリング分解

H0181

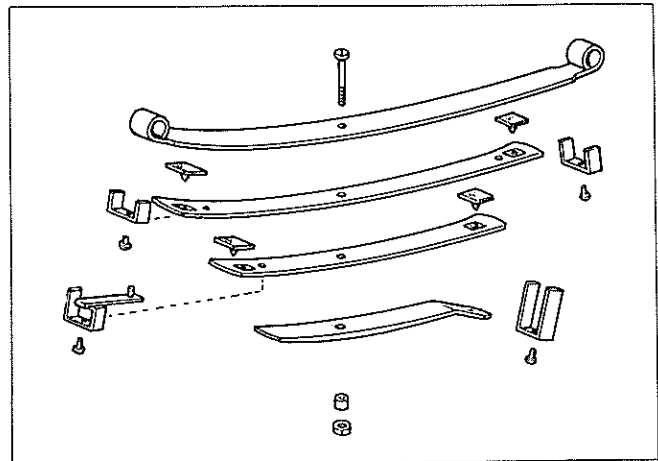


図10-28 リーフ スプリング構成

M2188

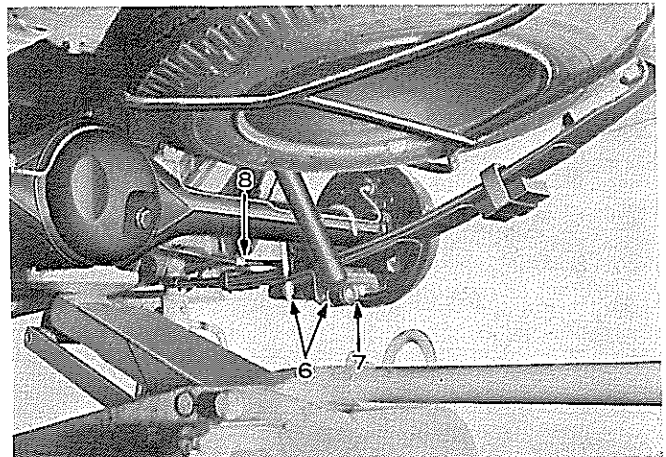


図10-29 リーフ スプリング取り付け

H0182

〈注意〉
ピン & シヤツクル ピンの 締め付けは、空車状態で行なう。